約6割を保険で賠償している。道路維持費は合併前から合併後も1億5000万円から1億8000万円前後で推移している。

原発再稼働について市長の見解を伺う

問 **三条市は原発事故発生時に福島県に避難する計画を策定した。しかし、現実の問題として、福島県に至るコースは現実味がない。それよりも原発を再稼働させないことが必要ではないか。**

答 原子力発電に関する課題は、国政レベルで議論がされている問題であり、その動向をしっかり注視して行く。

図書館のあり方について

問 **時代に即応したデジタル図書の取り扱いはどうか。**

答 平成26年度に機器および図書館の電算システムを入れ替える予定であり、検討したい。

問 **「栄こども図書館」の名称や読み聞かせなど、子どもが利用しやすい栄分館のあり方はどうか。**

答 栄分館については、しかけ絵本日本一プロジェクト実行委員会の中で検討したい。

信濃川・中ノ口川の整備について

問 **須頃郷地区は、平成23年7月29日からの新潟・福島豪雨水害で被害に遭った。内水対策に必要な信濃川・中ノ口川の整備についての考えはどうか。**

答 県管理である一級河川中ノ口川の国直轄管理への要望書を新潟市長、燕市長、三条市長とともに県知事に提出したところ。

須頃郷地区をはじめとする中ノ口川沿川地域の浸水被害を軽減するためには、中ノ口川の整備が早急に必要である。県も中ノ口川の直轄編入について、今後検討してもらいたいと正式に表明した。

今後とも県と歩調を合わせ国に対し、強く要望していきたい。

中ノ口川の水門

臨時会

平成26年 第1回

第1回臨時会は、1月16日に開かれ、耐震診断の結果を受け改築工事を行う必要が生じた第二中学校屋内体育館の「改築建築本体工事請負契約の締結」、保内地区交流拠点施設建設事業用地に供するための「土地の取得」、また過年度の法人市民税における減額更正に伴い必要となる還付金1300万円を盛り込んだ「平成25年度三条市一般会計補正予算」の3件が上程されました。

採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対

区分	議案 番号	議案 件名	議案 概要	自由クラブ 10	新政クラブ 4	新しい風 4	清流 4	日本共産党議員団 2	公明党議員団 2	議決結果
〔市長提出〕										
その他	議第1号	第二中学校屋内体育館改築建築本体工事請負契約の締結について	鉄筋コンクリート造2階建　延床面積1,318.85㎡ 契約金額　4億4,496万円 契約者　小柳建設株式会社	○	○	○	○	○	○	同意
その他	議第2号	土地の取得について	所在地　三条市下保内地内 所得面積　29,913.12㎡ 取得価格　1億3,595万5,130円	※1	○	○	○	○	○	同意
予算	議第3号	平成25年度三条市一般会計補正予算	法人市民税の減額更正に伴う還付金の追加 補正額　1,300万円 補正後の額　469億7,052万2,000円	○	○	○	○	○	○	原案可決

※1　久住久俊議員、下村喜作議員、佐藤和雄議員、武石栄二議員、梶　勉議員、吉田進一郎議員、森山　昭議員、土田俊人議員は賛成。
阿部銀次郎議員は棄権。熊倉　均議員は除斥*

＊除斥　審議事件と一定の利害関係を有する議員は、その事件の審議に参加することができない制度。市が買収する土地の理事であることから除斥となるもの。

【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

一番星育成！学力、スポーツ、文化・芸術

総務文教常任委員会　森山　昭　委員長

議第1号平成26年度三条市一般会計予算では、7・13水害追悼式典開催事業費について、10年という節目であることから嵐南地区での開催とし、第一中学校区小中一体校の体育館を選定させていただいた。来賓や生徒児童を合わせ1500人から参加いただく予定である。また、自衛隊の音楽隊から演奏してもらうことから、できるだけ風音を抑える冷房機器に500万円の費用が掛かる。なお、執行段階においてできるだけ経費節減を図ることとし、服装についても再度検討したいとのことでありました。

また、さんじょう一番星育成事業について、学びのマルシェは習熟度に応じた学びで効果が出ているということから、学校教育活動外のプラスアルファの教育と位置付け、トップランナー、エキスパート教室は難易度の高い発展的な学習をする場として、一定の選抜試験を実施し受講者を決定したい。ステップアップ、プラスワン教室は日頃の学習の補充的な役割をする場とし、定員は若干の余裕を持たせているとのことでした。

また、スポーツの一番星育成は、県大会レベルの選手個人またはそういった選手を育成している団体に対し、大会や練習に係る経費に助成するもので、上限を30万円と考えているとのことでした。

「ティファニー」ならぬ「二・七の市」で朝食を♪

市民福祉常任委員会　野崎正志　委員長

若手芸術家支援事業：創作中の中村暢子氏

議第1号平成26年度三条市一般会計予算では、全天候型広場整備事業について、三条学校給食共同調理場の跡地に300平方メートルほどの大きな屋根をつけて厨房も設置する予定であり、駐車場も若干設ける。高齢者をはじめとしたさまざまな方の活用の場にしていただけるよう検討していきたいとのことでした。

また、地域見守りサービス事業については、三条信用組合と提携して積極的に取り組んでいただいているとのことでした。

また、高齢者食育推進事業については、4月から11月ごろまでの月1、2回の予定で、1食500円程度と考えており、基本的には二・七の市での朝食提供を考えているが、広場に行けば毎日朝食が食べられるというような形を目指していきたいとのことでした。

また、若手芸術家支援事業については、おおむね50歳までの方であること、中央展等で入選実績があることという2つの基準があり、文化芸術振興に関する懇談会において候補の方を何人か挙げて、事業実施期日に開催可能な方を支援しており、26年度も3月に予定しているとのことでした。

植木のまち三条 保内に念願の交流拠点施設

経済建設常任委員会　武石栄二　委員長

委員会で視察した新保裏館線アンダー工区の工事現場

議第1号平成26年度三条市一般会計予算では、中心市街地活性化事業について、まちなか交流拠点施設「みんくる」の事業効果は、中心市街地へもう一度目を向けようという機運が盛り上がっていること、最終的にはまちづくり会社を立ち上げることを視野に入れているとのことでした。

また、ものづくり拠点施設整備事業について、中心市街地から外れた南小学校の跡地をものづくり拠点施設として利用する理由は、市民団体や高齢者施設とコラボレーションでき、相乗効果が期待できる場所だと考えたとのことでした。

議第9号平成25年度三条市一般会計補正予算では、保内地区交流拠点施設整備事業について、地元との協議の結果、緑のある暮らしを体験していただくため庭園を見てもらい、植木を植えてみたいと思ってもらえるようなものを目指したいとのことでした。

また、緑地整備費について、条南小学校の跡地利用としては、調整池を地下に設置した公園的な形で計画しているとのことでした。

議第11号平成25年度三条市公共下水道事業特別会計予算について、下田地域の特環は、事業費の残りが相当あるため、後年度の負担もあるができる限り要望したいとのことでした。